第２７６回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

１　日　時：平成 24 年 8 月 6 日(月) 9:47～9:54
２　場　所：第一特別委員会室
３　内　容：

（１）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

8 月 6 日午前 6 時現在の状況について報告する。

直近の測定結果で、最小値は、南会津地方、道の駅しもごう他の 0.04μSv/h、最大値は、相双地方、大熊町夫沢三区地区集会所の 35.16μSv/h となっている。

おおむね横ばいまたは減少傾向を示している。

（２）福島県民向け電話相談窓口　週報について

オフサイトセンター事務局：別紙資料により説明

先週の相談件数は 167 件。

主な内容としては、⑦飯館村の居住制限区域に 10 日間ほど、妊婦と子供が入ってもよいかという相談で、これに対して、居住制限区域については、一時的な立ち入りが認められており、特に妊婦や子供にも規制はないと回答している。

また、⑩国見町の桃を毎年購入しているが、桃の状況を教えて欲しいという相談に対しては、国見町の桃はモニタリング検査結果が最大 5.84Bq/kg ということで、食べても問題ないと回答している。

（３）「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は、5 件。

主な内容としては、野生きのこに関する問い合わせが 2 件。モニタリング結果の表記に対する問い合わせが 2 件であった。

モニタリング結果の表記に対する問合せは、いずれも検出限界値に関するものであり、表記の意味について説明した。

（４）「原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口」利用状況について

原子力損害対策担当理事：別紙資料により説明

先週の相談件数は、76 件とやや少なめの傾向になっている。内訳については、やはり浜通り、中通り地方の方、個人の方からの問合せが多くなっている。

内容としては、浜通りの被災地域の方からは、賠償の財物関係のうち、物の修復費

用などを一部先行して支払うということで、請求様式などが手元に届いた方からの手続き方法やその意味などについての問合せがやや多くなっている。

中通りの方からは、自主的避難、あるいは除染費用などに関する問合せがきている。

（５）経営・金融・労働の相談状況について

商工労働部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は、10 件。

相談内容は、資料記載のとおり。労働に関する相談以外は無く、労働のみ 10 件であった。

（６）福島県環境放射線モニタリング調査（集会所第２回）実施計画について

生活環境部長：別紙資料により説明

集会所については、昨年の 10 月、11 月にかけて第 1 回の調査を行っているが、今回は、それに引き続き 2 回目の調査を行うものである。

調査対象の施設数は、3,700 ヶ所余り。なお、このうち 105 か所については、モニタリングポストと同じ線量計が既に設置されているが、重複して調査を行う。

調査方法は、前回同様、施設の屋外、屋内それぞれについて、従来どおり 50ｃｍ、１ｍの高さで測定する。

結果については、速やかに速報値をまとめて、順次公表していきたいと考えている。

（７）「ふくしまの赤ちゃん電話健康相談」窓口の相談状況について

子育て支援担当理事：別紙資料により説明

６月から開設した「ふくしまの赤ちゃん電話健康相談」窓口の７月分の相談状況について、報告する。

７月の相談件数は、131 件。６月からの累計で、439 件。相談件数の中には、県外に避難した方からの相談も含まれている。

主な相談内容は、資料の中段記載の通り、自分の母乳の安全性を確認したいという趣旨の相談が一番多く、７月の相談件数 131 件のうち、100 名の方が母乳検査を希望している。

母乳検査の結果については、検査機関への検体送付があった７月分 163 件、先月分と併せて 253 件、これらすべての検査を終えており、すべてセシウム 134、セシウム 137 とも検出されず、検出限界値各２Bq/kg 未満であった。

今後とも、育児および乳幼児の健康に関する不安、悩みの解消につなげてもらうため、相談窓口の周知に努めていきたい。

（８）知事より

ご苦労様。先週、福島県内の夏祭りが、福島市、郡山市、白河市など、ほぼ全県下で催された。本当に昨年の状況と比べると元気を取り戻してきているなと感じる。先般、私も野馬追いに行ってきたが、ほとんど 3.11 以前に戻っていると感じた。

また、先週はこの第一特別委員会室で、尾瀬サミットに行った子供たちと色んな意見交換をさせてもらい、本当に子供たちも自然、そしてまた環境をそれぞれの感触の中で感じている姿を見て、将来に向かっての大きな夢、希望を感じた。

皆さんにも、連日、暑いというよりも、酷暑の連続であるが、体調に十分注意して、一日も早い福島復興のために更にまた頑張っていただきたい。

※　次回会議は、8 月 20 日（月）午前 9 時 30 より第一特別委員会室で開催する。